# 多次元多事象割り込みデータ収集処理システムの開 発

高橋, 祐邦 九州大学大学院総合理工学研究科エネルギー変換工学専攻

大垣, 英明 九州大学大学院総合理工学研究科エネルギー変換工学専攻

日隈,精二

九州大学大学院総合理工学研究科エネルギー変換工学専攻

今別府, 悟 九州大学大学院総合理工学研究科エネルギー変換工学専攻

他

https://doi.org/10.15017/17627

出版情報:九州大学大学院総合理工学報告. 7 (1), pp.61-68, 1985-08-01. Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University バージョン:

権利関係:

### 多次元多事象割り込みデータ収集 処理システムの開発

高橋祐邦 · 大垣英明 · 日隈精二 今別府 悟 · 浦瀬賢治 · 藤田泰之 前迫浩範 · 亀谷 均\* · 井尻秀信\*\* 的場 優\*\*・栄 武二\*\*\*・桑折範彦\*\*\* (昭和 60 3月 29日 受理)

## Development of a data acquisition and analysis system for multi-dimensions and multi-events

Yuho TAKAHASHI, Hideaki OHGAKI, Seiji HIGUMA Satoru IMABEPPU, Kenji URASE, Yasuyuki FUJITA Hironori MAESAKO, Hitoshi KAMETANI\*, Hidenobu IJIRI\*\* Masaru MATOBA\*\*, Takeji SAKAE\*\*\* and Norihiko KOORI\*\*\*

A multi channel analyzer (MCA) system that consists of ratio to digital converters (RDC's), ADC's and a microcomputer has been developed. It has been tried to realize a data acquisition and analysis system for multi-dimensions and multi-events. Physics experiments have been performed using this system at Research Center for Nuclear Physics (RCNP).

The detailed diagram and operation of the data acquisition and analysis system and some examples of mesurement have been described.

#### 1. 序

我々は、大阪大学核物理研究センター (RCNP) の大型サイクロトロン等を使用し、原子核反応実験を行い、原子核の高励起(高温)状態、内部構造、原子核内部における核反応メカニズムなどに関する研究を行っている.

原子核物理実験で得られるデータは、多数の変数(パラメータ)を同時に記録する事が重要となる場合が多い。例えば、入射粒子のエネルギー分布と入射位置の情報を同時に測定する場合は2次元(2パラメータ)実験と呼ばれる。また、散乱、核反応、壊変などによって放出された粒子の個々の事象(event)を別々に記録する事も重要となる(多事象データ)。このような実験では、物理的意味を持つ実時間情報を的確に引き出す多次元多事象ランダムデータの取り扱いが重要とな

エネルギー変換工学専攻修十課程

- \* エネルギー変換工学専攻博士課程
- \*\* エネルギー変換工学専攻
- \*\*\* 工学部応用原子核工学科

る.

本研究室では、パルス波高比ディジタル変換器 (RDC)<sup>112</sup>, ADC, マイクロコンピュータを結合して簡単で高性能な計算機付き 4096 チャンネル多重波高分析器 (MCA) を開発している。今回、これらのシステムを拡張し、多次元多事象割り込みデータ収集処理システム(今回は 2 次元 2 事象)の実現を試み、開発したシステムのテスト実験を本研究室と大阪大学核物理研究センター (RCNP) において行った。

ここでは、対象とするデータの特徴と収集システムの概念を述べ、このシステムのハードウェア、ソフトウェアについて報告し、具体的な測定例を示してシステムの特性を整理する.

#### 2. 原子核物理実験データ収集処理の概念

#### 2.1. 原子核物理実験データの特徴

a) 一般に放射線検出器からの信号は微弱で, その信号は電荷パルスとして得られる.

- b) 放射線検出器のパルス信号は, ランダムに発生する.
- c) 計数率が非常に大きく変化する(ここで取り扱うシステムでは、 $1 \sim 10^5$  個/sec).
- d) それぞれのデータの相関, 非相関関係が重要となる.

#### 2.2. データ収集処理

データ収集処理システムの構成を Fig. 1 に示す.

一般に、放射線検出器から得られるパルス信号は前置増幅器 (Pre-Amplifier)、主増幅器 (Spectro Scopy Amplifier)を使って波形整形され増幅される。その信号の波高値を正確に読みとり、ディジタル信号に変換することで、マイクロコンピュータによる処理が可能となるが、その為に高精度の ADC が必要となる.

以前,我々の研究室で開発した ADC は、線型スィープ放電を利用した Wilkinson 方式<sup>3)</sup>を基本とし、入力電圧パルス波高に等しく充電したコンデンサの線型放電時間を 100 MHz のクロックパルスで計数することにより、ディジタル化している。

また、検出器での入射位置情報は、同時に得られる2つのパルス波高値を割算することにより求められる。従って、このパルス波高比を正確に求めることにより割算機能を付加したRDCとしての使用が可能である。この割算回路は、Westphal<sup>4)</sup>によって発表された回路を基本としている。

ADC (RDC) とマイクロコンピュータの接続には, 広島大グループが発表した CAMAC (Computer Aided Measurements And Control) 規格, CCP (Crate Control Port) 用標準バス<sup>5)</sup> を採用している.

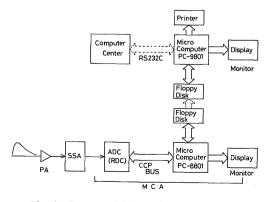


Fig. 1 Data acquisition and analysis system

2.1 の b), c) の条件に十分対応できるように、マイクロコンピュータに割り込みをかけてデータ収集処理を行なっている. この場合, ADC からの割り込み要求信号 (LAM: Look At Me) により、マイクロコンピュータから ADC (RDC) に TOK (Transfer O. K.) 信号が送られる. データ収集処理プログラムは、処理速度、ハードウェアの点から機械語 (Z80CPU) で書かれている.

#### 2.3. 多次元多事象データ収集処理

現在一般に、多次元多事象データ収集処理システムはミニコンピュータ (PDP11, VAX11) を使用していたが、最近のマイクロコンピュータの普及に伴い、高性能化、大容量化、コストダウン等により、従来のシステムの代わりとしてマイクロコンピュータの使用が十分可能となった。

そこで我々はまず、マイクロコンピュータを使用した2次元2事象データ収集処理システムを開発した. そのシステム構成を Fig. 2 に示す.

ADC (RDC) 2 台と事象情報 (Event signal) とをCCPBUS 上を介してマイクロコンピュータに接続している。この様に CCPBUS を採用する事により、ADC (RDC) を増やす事が可能となる。又,各 ADC からの割り込み要求信号の処理方法により、データの同時収集か独立収集かの選択が可能となる。例えば、ADC (RDC) 2 台からの割込み要求信号の論理和 (OR)をとる場合には同時収集処理が可能となり,相関,非相関関係が明確となり,また,別々の割込み(多重割込み処理)を行わせる事により独立収集が可能となる。

事象情報としては、RCNP 実験での原子核スピン(UP と DOWN) の 2 事象を取り扱う.

データ収集方法としては, 入力データに対応するチ

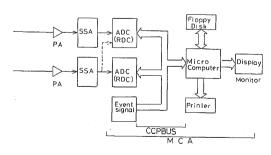


Fig. 2 Data acquisition and analysis system (Two dimensions and two events)

```
****** INLIS3.ASM **************
        Interrupt -
          List-Mode Asemmble Program for MCA-LIST5 *
                      1985年 1月 17日
******************
                     ;
                                  ORG 08000H
                      ;
ISTORE:EQU OEF3FH ;Interrupt Level Store Address
INFLAG:EQU OE6F1H ;Interrupt Flag Address
ILEVEL:EQU OE6C3H ;Interrupt Level Address
PORT: EQU OE4H ;8214 Current Status Register Port Address
EF3F
E6F1
E6C3
nnF4
                      NOWADO:EQU 0809EH; Data Now Ad. Stack Address
ENOADO:EQU 0E5FCH; Data-in Memory End Address
STADD1:EQU 08E01H; Top Address for ADC-1 Spectrum Mode
STADD2:EQU 0C201H; Top Address for ADC-2 Spectrum Mode
809E
E5FC
BE01
C201
                       ; *Oisable Interrupt
                        ;*Save Register
8000 C5
8001 O5
8002 E5
                                 PUSH BC
                                  PUSH DE
                                  PUSH HL
8003 F5
                                  PUSH AF
                       ;*Store Level Data
LD A,(ILEVEL)
PUSH AF
B004 3AC3E6
B007 F5
                                                        Save Level
                        ;*Set Interrupt Level
8008 3E04
800A 03E4
800C 323FEF
800F 32F1E6
                                 LD A,04H
OUT (PORT),A
LD (ISTORE),A
LO (INFLAG),A
                                                          ; INT4 Level
B012 FB
                                  ΕĪ
                                                                       ;Enable Interrupt
                        ;*Get AOC Data-1
LO 8,03H
LO C,0C0H
                                                           ;Set Crate No. for ADC-1;Set CCP-BUS Register No. for ADC-1
8013 0603
8015 0EC0
8017 CD4780
                                  CALL INPADC
801A E5
                                  PUSH HL
                                                           ;Get AOC-1 Data
                       ;*Get AOC Data-2
LD 8.04H
CALL INPAOC
                                                           ;Set Crate No. for AOC-2
;Get AOC-2 Data
8018 0604
B010 C04780
                        ;*Set Data to Memory-2
LD A,020H
LO DE,STADO2
B020 3E20
B022 1101C2
B025 C052B0
                                                          ;Set ADC-2 Number
                                                          ;Set Top Memory Address for ADC-2
                                  CALL SETMEM
                       ;

*Set Data to Memory-1

POP HL

LO A,010H

LO DE,STADD1
                                                            ;Set ADC-1 Data
B028 E1
B029 3E10
B028 11018E
                                                           ;Set ADC-1 Number
                                                          ;Set Top Memory Address for ADC-1
                                         DE,STADD1
802E C05280
                                  CALL SETMEM
                        , *Output Transfer O.K.
                                  OUT (C),A
LO B,03H
OUT (C),A
                                                           :Output Transfer O.K. for ADC-2
B031 E079
B033 0603
B035 E079
                                                           ;Output Transfer O.K. for ADC-1
                       ;*Restore Level
POP AF
LO (ISTORE)
OUT (PORT),A
POP AF
B037 F1
8038 323FEF
8038 03E4
                                          (ISTORE),A
                                                           ;Restore Register
BO3D F1
803E E1
803F 01
8040 C1
8041 00
                                  POP HL
                                  POP DE
                                  POP
                                         8C
                                  NOP
BO42 C9
                                  RET
                                  NOP
8043 00
8044 00
8045 00
                                  NOP
                                  NOP
                                   NOP
 BO46 00
```

```
- INPADC -
                        Input ADC Data Subroutine
 B047 E078
                                    A,(C)
                     INPADC: IN
                                                   ;Get Upper 8bits Data
 BD47 ED
BD49 67
BD4A OC
                             LD H,A
 8048 ED78
                                    A,(C)
L,A
C
                              IN
                                                   ;Get Louer 8bits Oata
 B040 6F
                             ı'n
 804E 00
804F C9
                             DEC
                             RET
                    ;
8050 00
                             NOP
8051 00
                             NOP
                            - SETMEM -
                        Set ADC-Data to Memory
                         Subroutine
HL;ADC Data
                                 DE; Top Menory Address
                                 A ; AOC Number
                     *Set ADC-Data to Spectrum Mode Memory
8052 C5
8053 C88C
8055 C874
8057 C884
                    SETMEM: PUSH BC
                             RES
BIT
                                    7,H
06H,H
                                                 ;Let H<7>=0
;If H<6>=0 Then Z=1 Eles Z=0
                                                 ;Let H<6>=0
;If Z=1 Then go to DOWN
                             RES
                                    06H.H
8059 2805
                             JR
                                    Z,DOUN
8058 010000
805E 1803
                             LD
                                    вс.он
                                                 ; for UP
                             ĴŔ
                                    CON
                                                 go to CON
8060 010002
8063 E5
                    DOWN:
                             LO
                                    BC,0200H
                                                 ; for DOWN
                                                 ;Save ADC-Data
                    CON:
                             PUSH HL
                    ; *Convergion Gain
8064 CB3C
8066 CB10
8068 CB3C
                             SRL
                                   н
                                    H
                             SRL
806A CB10
806C CB3C
                             88
                                   L
                             SRL
806E CB10
8070 CB3C
                             RR
SRL
                                   L
8072 CB10
                                                  ;HL=[NT(HL/16)
                             RR
B074 29
                             A00
                                   HL.HL
                                                  :HL=HL*2
8075 19
                             A00
                                    HL, DE
8076 09
8077 34
                             ADD
                                   HL,BC
                                                  ;Set Effective Memory Address
                             INC
                                                  ;Add One
                                                  ; If not Carry Over Then go to LOOP
; for Carry Over
8078 2002
807A 28
                             JR
DEC
                                    NZ, SETDAT
                                    HL
8078 34
                                    (HL)
                                                  ;Add One
                             INC
                    :*Set ADC-Data to List Mode Memory
                    ;*Check Address
807C 2A9EBD
807F 11FCE5
8082 E5
8083 87
                    SETOAT:LO
                                   HL,(NOWADD);Set Now Address
DE,ENDADD ;Set End Address
                             PUSH HL
                                                  ;Reset Carry Flag
;HL =Now Address - End Address
                             0R
8084 E052
                             SBC
                                    HL, DE
B086 E1
B087 D1
                             POP
                                   HL
                                                  :Restore AOC-Data
B088 C1
                             POP
                                    ВČ
B089 C8
                             RET
                                   Z
                                                  : If Now Ad. = End Ad. Then Return
808A 82
808B 57
808C 73
808C 23
808E 72
808F 23
8090 229E30
                             A00
                                   A,D
D,A
                                                  ;Add ADC Number to AOC-Data
                             LD
                             ĹĎ
                                    (HL),E
                                                  ;Load Lower Shits Data to Memory
                             INC
                                   HL
(HL),D
                             ĹÖ
                                                  ;Load Upper 8bits Data to Memory+1
                             INC
                                    (NOWADD), HL; Save Nou Address
8D93 C9
                             RET
                    ;
8094
                             ENO
 CON 8063
INPADC 8047
                    OOWN 8060
ISTORE EF3F
STADD1 BE01
                                        ENDAGO ESFC
                                                            ILEVEL E6C3
                                                                                INFLAG E6F1
SETDAT BO7C
                                        NOWAOD BOSE
                                                                     00E4
                                                            PORT
SETMEM BOS2
                                        STA002 C201
```

Fig. 3. Program of list mode data acquisition and analysis (Tow dimensions and two events)

ャンネル数に1を加えていくヒストグラムモードと ADC (RDC) からのデータに事象情報や ADC 番号など を加え、そのままメモリやフロッピーディスクに記録していくリストモードがある. 2次元2事象リストモードデータ収集処理プログラムを Fig. 3に示す.

データ処理方法としては、リストモードデータから ADC 番号、事象情報、ADC (RDC) データを読みとり、ヒストグラムモードによるスペクトル表示用メモリーに振り分ける。また、Fig. 4 に示すように入射位置情報を横軸 (X) に、エネルギー分布情報を縦軸 (Y) にとり、対応する (X,Y) マトリックスに 1 を加えていく(2次元データマップ処理)。これは、(X,Y) と z 軸によって表され、3 次元表示、2 次元マップ表示が可能となり、より立体的に物理現象などを表現することができ、原子核物理実験の解析や検出器の開発に極

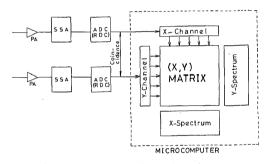
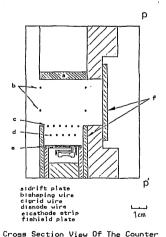


Fig. 4 The concept of two dimensions map



ion View Uf The Counter

めて有用となる.

#### 3. 実験及びその結果

この節では、今回開発した多次元多事象ランダムデータ収集処理システムのテスト実験として.

- 1) 本研究室の軟 X 線発生装置とガス計数管など を使用して行った実験,
- 2) RCNP における原子核物理実験, を行った際の実験装置,測定回路及びその結果, について述べる.

#### 3.1. 本研究室におけるテスト実験

この実験では、強電界放出現象を利用した数 keV のエネルギーの軟 X 線発生装置 $^{67}$  を使用した.放射線検出器としては、分割陰極多重陽極型位置検出比例計数管 $^{8}$  を使用した.ガス計数管の構造は Fig. 5 に示す.分割陰極からの信号は、まず電荷有感型前置増幅器(以後プリアンプ)を使用して増幅した.ガスは主に  $Ar: CH_4 = 70:30$ , $Ar: CH_4 = 80:20$  の混合ガスを用いている.

実験方法としては、Fig. 6 に示すように (a) TYPE. I と (b) TYPE. II の 2 通りの方法で行った。TYPE. I は位置分解能と陰極出力全電荷パルス振幅の同時測定で、TYPE. II は陽極出力全電荷パルス振幅と陰極出力全電荷パルス振幅と陰極出力全電荷パルス振幅の同時測定である。

全電荷パルスの測定 (TYPE.Ⅱ) では、陰極両端からの信号をサムアンプで和をとり、スペクトロスコピーアンプで整形、増幅し、ADCへ接続した。また、X

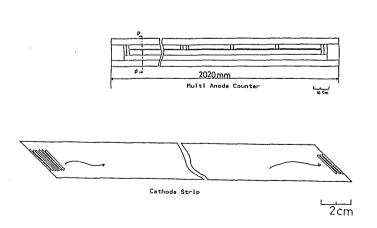


Fig. 5 Schematic view of the counter

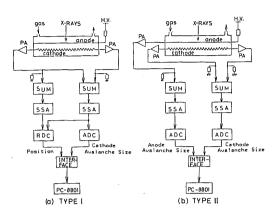


Fig. 6 Electric block diagram

線入射位置測定 (TYPE. I) では、陰極左側の出力を 1 台のサムアンプに、また陰極両端の出力をもう 1 台のサムアンプに入れ和をとり、それぞれ同じ型のスペクトロスコピーアンプで整形、増幅する。陰極両端の和をとった信号と陰極左側のみの信号をそれぞれRDC の分母側と分子側に接続した。陽極芯線からの信号は、プリアンプ、スペクトロスコピーアンプを通して整形、増幅し、ADC に接続した。

以上のデータ収集には8ビットマイクロコン ピュータPC-8801,8'フロッピーディスク装置,5' フロッピーディスク装置を接続して,主に2次元1

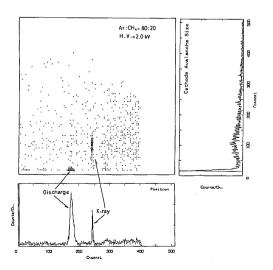


Fig. 7 Map of two dimensions (Position resolution VS Avalanche size of cathode output)

事象データ収集処理プログラムを使用した<sup>9</sup>. データ 処理には PC-8801 上で 2 次元 1 事象 ソーティング・データ処理プログラムを使用し, PC-9801 上では 2 次元マップデータ処理プログラムを使用した.

実験結果は、TYPE. I によるものを Fig. 7 に、TYPE. II によるものを Fig. 8 に示す. Fig. 7 の 2 次元マップの横軸は位置分解能、縦軸は陰極出力全電荷パルス振幅に、Fig. 8 の 2 次元マップの横軸は陽極出力全電荷パルス振幅、縦軸は陰極出力全電荷パルス振幅に対応する.

#### 3.2. RCNP における実験

我々は、RCNPのAVFサイクロトロン施設において大型のQDMDQ型荷電粒子スペクトログラフ<sup>10)</sup> (RAIDEN)を使用して原子核反応の研究を行っている.このスペクトログラフの位置検出システムとして、1.8 m 長の抵抗芯線型の比例計数管数台と2 m 長プラスチックシンチレーターから構成されるシステム(KYUSHU 検出器システム)<sup>11)</sup>を開発し、実験に使用している.

これまでは、RDP (Raw Data Processor) $^{12}$ 、ミニコンピュータ PDP11 等のデータ収集処理システムを使用してきたが、今回の実験ではマイクロコンピュータを使用し、実際に我々が開発したデータ収集処理システムのテスト使用を行った.

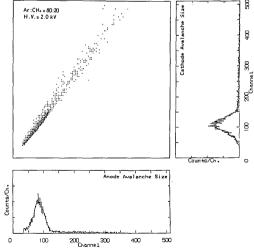


Fig. 8 Map of two dimensions (Avalanche size of anode output VS Avalanche size of cathode output)

実験に使用した検出器システムの配置と測定回路系を  $\mathbf{Fig.~9}$  に示す。ガス計数管  $(X1, X2, \Delta E$  ガス計数管) は、単芯線型比例計数管 (SWPC) を用い、その陽極芯線には長さ 1800 mm、直径 20  $\mu$ m のステンレス線を使用している。このガス計数管  $(X1, X2, \Delta E$  ガス計数管) に軟 X 線を入射させてテストした際の 2 次元マップを  $\mathbf{Fig.~10}$  に示す。 2 次元マップの横軸と縦軸はそれぞれ位置分解能(4096 チャンネルのうち  $1700 \sim 2000$  チャンネル)と陽極出力全電荷パルス振幅に対応している。

今回の RCNP 実験では、ガスは Ar: CH4 = 70:30 の混合ガスにエチルアルコールを飽和させたものを用いた。また、各ガス計数管 (X1, X2,  $\Delta E$  ガス計数管) から得られる電荷パルス信号は、プリアンプ、スペクトロスコピーアンプにより波形整形後、増幅した、X1 ガス計数管の入射粒子位置情報は次の方法で収集した。

- 1) 割算回路<sup>1/2)</sup> の出力を ADC によりディジタル化し, パルス波高分析器 (Pulse Height Analyzer) により処理した後, 磁気テープに記録.
- 2) RDC をマイクロコンピュータ (PC-8801) に接続してデータ収集処理を行い, データをフロッピーディスクに記録.

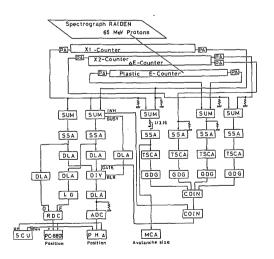


Fig. 9 Electric block diagram (RCNP experimentation)

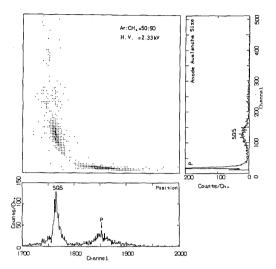


Fig. 10 Map of two dimensions (Position resolution VS Avalanche size of anode output; for ultra soft x-rays generator)

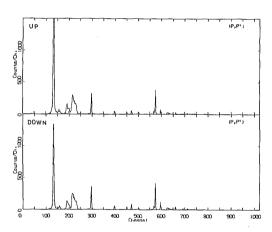


Fig. 11 One dimension and two events spectrum for elastic protons

なお、マイクロコンピュータでは 1 次元 2 事象データ収集処理プログラムを使用し、X1 ガス計数管の入射粒子位置情報と原子核スピン (Up E Down) 事象情報を読み込み、ヒストグラムモードによるスペクトル表示 (Up E Down) を行った。また、別のマイクロコンピュータ (PC-8801) を使用する事でデータ収集と同時並列にデータ処理解析を行った。

実験は弾性散乱させた陽子と ³He 粒子を検出器システムに 36°の入射角で入射させ行った. Fig. 11

は、弾性散乱された陽子を検出器システムに入射させた場合の X1 ガス計数管位置分解能スペクトルの測定例を示す、原子核スピン Up 事象は上段、Down 事象は下段に対応している。

#### 4. 考 察

従来のシステムに代わり、マイクロコンピュータを 使用する利点として次の4点が考えられる。

- 1) 従来のミニコンピュータ CPU 時分割多重使用 のノイマン的使用に対して、マイクロコンピュー タ数台の同時並列処理による非ノイマン的使用が 可能となる.
- 5) 従来のシステムに対して約 1/100 のコストダ ウンが計れる.
- 3) システムアップが比較的簡単に行える.
- 4)ソフトウェア開発,データ収集処理等が個人(研究室)単位で専有可能となり,即ち,データ処理解析が可能となる.

しかし、次のような問題点もある.

- 1) データ収集処理速度が遅い.
- 2) 多次元多事象化する程, 計数率が下がる.

このような問題点に対し、将来、16、32 ビット高性能 CPU を持つマイクロコンピュータを使用することで解決可能と思われる.

#### 5. 結 論

1) 今回, 2次元2事象までのデータ収集処理システムを実現したが,これにより,多次元多事象のデータ収集処理システムを開発する際の指針を与えた.

- 2) マイクロコンピュータによるリストモードデー タ収集処理, 3次元データ処理(2次元マップ) を実現し,これまで以上にデータ処理能力を向上 させた.
- 3) 実際の原子核物理実験で、2台のマイクロコンピュータを使用してデータ収集処理、データ解析を行い、マイクロコンピュータの同時並列処理による安価で高性能なデータ収集処理システムを実現した.

#### REFERENCES

- M. Matoba, H. Kurokawa, T. Sakae, H. Ijiri, H. Kametani and K. Komatsu: Nucl. Instr. and Meth. 224 (1984) 173.
- 2) 黒川浩彦:修士論文,昭和58年3月.
- D. G. Wilkinson: Proc. Cambridge Phil. Soc. 46 (1950) 508.
- 4) G. P. Westphal: Nucl. Instr. and Meth. 134 (1976) 387.
- 5) 遠藤一太: パーソナルコンピュータによる CMACC 制御 方式標準化. Progress report No.1 (1980); No.2 (1981).
- 6) 藤田泰之: 卒業論文 昭和59年3月.
- A. W. Kolfschoten, H. W. Vanderven and A. Buijs: Nucl. Instr. and Meth. 188 (1981) 477.
- 8) 大垣英明:修士論文 昭和60年3月.
- 9) 川村清: PC-8801 解析マニュアル (1982, 秀和システムトレーディング)
- 10) H. Ikegami: RCNP Annual Report (1977) 64.
- M. Matoba, K. Tsuji, K. Marubayashi, T. Shintake, H. Ikegami, T. Yamasaki, S. Morinobu, I. Katayama, M. Fujiwara and Y. Fujita: Nucl. Instr. and Meth. 180 (1981) 419.
- I. Katayama and H. Ogata: Nucl. Instr. and Meth. 174 (1980) 295.